
非現実的な日々～逝ってる夏休み～（番外編）

kAzU

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

非現実的な日々〜逝ってる夏休み〜（番外編）

【Nコード】

N0347A

【作者名】

kazu

【あらすじ】

非現実的で逝っちゃってる話です。

番外編 逝ってる夏休み！（ってか番外編書く前に1話目書けよ！！）

俺は漫画みたいに小鳥のさえずりで起きる、そんな男では無い。と言っことで普通に起きてみました。

おっ、目覚ましの設定した時間より10分早いではないか、これは何か良い事ありそうだ。

俺はベッドから降りて、一回背伸びをしてから服を着替えてリビングへ。

リビングに入ったらすでに美希ちゃんにご飯の用意していた。なんとゆっこと。

10歳の女の子が料理してるではありませんか。黒い髪をなびかせながら、

メイド服を着て・・・ふっはっはっは。そう、こんな事もあるうかと

用意しておいたメイド服、昨日のうちに渡しておいたのだ。（激萌っ！！ってか、あれを着て外にでるのかな？）

「お兄ちゃん起きてたんだ」と不意に聞かれて俺は「お、起きてた？むしろ起きることが俺の人生！！」

などと意味不明な事を口走っていた。

何？と言う様な顔をしながら笑って「変なお兄ちゃん」そんな事を言うもんだから、

襲いたい！！！！ああ~~~~、襲いたいつ！！激ロリ！！サイコー！！言葉が進化するとしたら、

襲いたい！！、襲うぜ！！、襲うしかないだろ！？の三つに分けられる。

ちなみに今の俺は襲うしかないだろ！？の危険な状態。

ヤバイ！このままでは本当に襲ってしまいそうだ。そんな俺を許してくれ！

すると美希ちゃんが「お昼ご飯が出来ましたよ」の言葉で正気に戻って・・・？

俺は聞き返した。「お昼？まだ朝だよ」と言った。すると「もうお昼だよ」

俺は後ろの時計を見てみると、そこには針が二時の所を指していた。

何でだ？と思いつながら俺は部屋に戻って目覚ましを見てみると、同じ場所

を何回も揺れてるだけだった。「電池が切れかかっていたのか」ってかヤバイ！！

今日は友達と遊びに行く約束を一時にしてたんだった。ああ、完全に遅刻だ！

怒って皆で俺をいじめにくるのかな？。(っつてか遅れた俺が悪いんだけど)

その時、ピンポンとチャイムの音がした。

あいつらか？いじめにきたのか？・・・？までよこのまま美希ちゃんか

出て行ったら・・・おおオオおお。ヤバイ！非常にヤバイ！！

俺はこれまでに無いぐらいダッシュでリビングに行った時には時すでに遅し。

友達が俺を見て「いつかやると思ってたんだよなあ」(坂上 浩平)とか「私、直樹君の事信じてたのに」(早乙女 桜)

と言う様な言葉が飛び交っている。言い訳しようが無い。とその時に犬神(犬神 浩二)が

「ロリは良いけど監禁は駄目だろう」「などと素晴らしく訳の分からん事を言ってくるのです。

「そ、そんなわけ無いだろ！！」すると「現にここに女の子がいるし」と言ってくる始末。

そこで俺はどう言う事になってるかを説明する事にしました。(説

明省略！)

「なんだ、そう言う事か」(犬神)「でも美希ちゃんが着てる服は？」

うっ、その言葉は今の俺にはダメージが大きすぎる。何とか良い言い訳を考えてる時に

美希ちゃんが「この服はお兄ちゃんからもらったの」終わった。何もかも。

ああ、友達が俺を白い目で見ている。こんな事ならいつその事散つてやる！！

「ふん、この俺様の理想が貴様らに分かってたまるか！」(完璧に逝っちゃってます)

逝ってやるぜこの際何もかも！「そうだ、俺はロリだ！！ロリータだ！！小女子のおにぎりを見つけたら、はい！萌！！」

「萌を三つ書いてなんて読む」(俺)「はい！爆萌！！」(俺)

「ロリロリロリ」は~~~~い、爆ロリ！！」(意味不明)

「二次元サイコー。」(俺)「逝ってみたいと思いませんか？」

(俺)

あれ？なんか意識が無くなって……

「……なさい！」「誰かが何か言っている。」「……きなさい！」

だんだん声が大きくなっていく。

「起きなさい!!」はっと起きるとベッドの上だった。

「何回起こしても起きないんだから!」俺は何も理解できないまま
「も、萌?」と言っていた。

小鳥のさえずりを聞きながら俺は悟った。夢だったと。(ええ!?
夢才子で終わらせちゃっていいの?)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0347a/>

非現実的な日々～逝ってる夏休み～（番外編）

2010年12月8日18時45分発行